

平成21年度 局配分予算算定案

都島 区

ア 総括表

(単位：百万円)

		平成21年度算定 (A)		平成20年度当初 (B)		(A) - (B)	
		歳出	税等	歳出	税等	歳出	税等
一般会計		【152】 152	144	【155】 155	147	【△3】 △ 3	△ 3
区分	局配分予算(※)	141	133	144	136	△ 3	△ 3
	重点予算事業での要求 (政策分)	10	10	10	10	0	0
	重点予算事業での要求 (市政改革分)	1	1	1	1	0	0
	地对財特法期限後の事業等	0	0	0	0	0	0
	財産売却代 (土地、建物、有価証券売却代)	0	0	0	0	0	0
	(別途) 公債費等	0	0	0	0	0	0
特別会計		0	()	0	()	0	()
局 計		【152】 152	/	【155】 155	/	【△3】 △ 3	/

再掲	21年度算定 (A)	配分額 (B)	(A) - (B)
局配分予算(※) の税等のうち 局裁量経費 歳出に連動しない歳入	133	134 (B)うち 未利用地売却促進インセンティブ制度 2 (B)のうち 節減インセンティブ制度	△ 1

配分額を超過する理由

- (注) 1. 局配分予算には、平成20年9月30日付財第113号の会計別総括表の記載要領における、局裁量経費、歳出に連動しない歳入、重点検討項目、非裁量経費の合計を記入すること。また、各区分の税等欄には、同記載要領の再差引市費を記入すること。
2. 一般会計・局計欄の上段【 】には、公債費等を加えた計数を記入すること。
3. 特別会計の税等欄には、一般会計繰入金を記入するとともに、収支過不足額を上段()書きで記入すること。
4. 21年度算定 (A) が配分額 (B) を超過する場合は、その理由を明記すること。

イ 都島区役所予算編成方針

<p>目標像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民が安全で安心して暮らせる都島区の実現 ・ ぬくもりと活気あふれる都島区の実現 ・ 区民から信頼され親しまれる都島区役所の実現 	<p>使 命</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民と企業や行政が協働した地域密着型の防犯・防災体制の推進 ・ 区民と企業や行政が協働したまちづくりの推進 ・ 公平・公正で区民から信頼される都島区政の推進 		
<p>21 年度予算編成の考え方</p> <p>平成 21 年度予算については、4 つの主な経営課題に対応するため、事業の目的や効果を検証し、優先的・重点的に取り組む事業を選択するとともに、効率的で効果的な組織運営・事業実施を行うことで経費の節減に努め、152 百万円を計上した。</p>			
<p>現状認識</p>	<p>主な経営課題（改革課題）</p>	<p>戦略及び達成目標</p>	<p>21 年度主要事業（主な取組）</p>
<p>経営課題 1 の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模な高層集合住宅が集中する地域や木造家屋が密集する地域、商業施設が集積する地域など区内各地域における防犯、防災に関する課題は多様である。 ・ 駅周辺の放置自転車や商店街のはみだし看板、歩きたばこ、ごみのポイ捨て、客引き等がまちの美観を損ね、歩行者の安全で快適な通行に支障をきたしている。 	<p>経営課題 1</p> <p>【安全・安心なまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区民一人ひとりが防災意識を高め、災害発生と同時に、自主的な防災活動や避難活動を迅速に行える体制を構築する。 ・ より安全・安心なまちづくりを行うため、行政・地域・警察などの連携を一層強化し、一体となった防犯活動を展開していく。 	<p>戦略 1-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練を実施し、行政・区民・企業の相互協力体制を確立する。 ・ 防災技術を習得する機会を提供し、区民の防災意識や災害対応力の向上を図る。 <p>【達成目標】</p> <p>防災訓練や研修会等を通じ、区民の防災意識・災害対応力の向上と地域防災リーダーの増員・育成及び区民と警察・消防等の行政機関との相互協力体制の確立をめざす。</p> <p>戦略 1-2</p> <p>区民主体のワークショップを実施し、区と地域が協働で取り組むべき今後の課題を明確にし、その解決を図る。</p> <p>【達成目標】</p> <p>平成 19 年度から 21 年度までの 3 ヵ年計画で実施しており、平成 21 年度は残りの 3 校区でワークショップを実施する。</p>	<p>区防災対策事業 3 百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区防災訓練 ・ 地域防災リーダーの育成 ・ 地域防災活動の支援 ・ 防災マップの作成 <p>地域防災力向上のための小学校区別ワークショップ 2 百万円</p>

都島区の安全なまちづくり事業 1百万円

戦略1-3
区役所を拠点とした地域安全対策の体制を強化し、犯罪・遊具での事故等の未然防止・抑制を図り、さらには地域の環境改善をめざす。
小学校地域での自主パトロール（こども見守り隊）活動を支援し、街頭犯罪をはじめとする多岐にわたる犯罪を未然に防止・抑止する。

【達成目標】
地域安全対策を強化し、登下校中のこどもに対する犯罪、遊具等での事故の未然防止・抑止を図る。また、公園遊具の安全管理、放置自転車や不法投棄等に対して、迅速に対応し、安心・安全なまちづくりを推進することによって、犯罪の減少や地域の環境改善をめざす。

京橋地域の安全なまちづくり事業 1百万円

戦略1-4
京橋駅周辺を歩行者が快適に通行でき、活気に満ちたまちづくりをめざし、地域住民・関係機関・事業所が一体となった活動を実施する。
「放置自転車」「たばこマナー」「はみだし看板」等の課題ごとに解決策を検討し、啓発活動を定期的実施する。

【達成目標】
平成21年度からは総体的なまちづくりを考えるため、外部の講師によるまちづくり研究会を実施し、ハード・ソフト両面から課題解決をめざす。
商店街、飲食店の自主規制の遵守
自転車利用者の駐輪場利用の促進、歩行者妨害の減少、通行モラルの向上
環境美化に対する区民等の意識の高揚と定着

みやっこみんなで健康づくり事業 1百万円

戦略2-1
区民の健康づくりを総合的・効果的に推進するため、生活習慣病予防に焦点をあてた健康づくり事業を展開する。区の特性を生かしたウォーキングの実施や区民と協働で製作した「みやっこ体操」の普及により、日常生活の中に健康意識を根付かせ、健康的な生活習慣の形成支援を行う。

経営課題2
【誰もがいきいきと健康で暮らすことのできるまちづくりの推進】

経営課題2の背景となる現状
・ 高齢社会の進展に伴い、生活習慣病の予防など、世代を問わず健康への関心が高まりを見せている。

- ・ 価値観や生活様式が多様化し、充実した生活を送るためのニーズが多岐にわたっている。

- ・ 高齢化の進行に伴い、医療・介護に対するニーズが増大することから、区民の健康保持・増進への支援が必要である。
- ・ 区民の健康づくりへの主体的な取組みを促進し、疾病を予防するため、食生活の改善や適度な運動・休養など健康的な生活習慣を身につける必要がある。
- ・ 住むなれた地域で心と心がふれあい、いきいきと暮らすことができるよう、地域に根ざした取組が必要である。

【達成目標】

ウォーキング大会・健康づくりのつどいに参加することによる健康意識の向上をめざす。
平成23年度ウォーキングコンテスト応募者数 300人
平成23年度アンケート結果で健康意識が高まったという回答 80%

戦略2-2

住民主体で地域の生活課題を解決する「地域福祉力」の強化を図るため、地域福祉アクションプランの推進に対して必要な支援を行う。

【達成目標】

区と区社協が連携し、各地域の組織の強化・活性化を促進し、地域のネットワークづくりの積極的な推進をめざす。

戦略2-3

市民一人ひとりの人権意識の普及・高揚を図り、差別や偏見のない人権尊重の明るいまちづくりを推進するため、地域に密着した人権啓発活動を行う。

【達成目標】

区内各種団体や地域のボランティア等と連携し、人権学習会や人権啓発事業を実施することにより、人権の意義や人権尊重の重要性について理解を深めることをめざす。

戦略2-4

人間尊重と共生、「市民力」をはぐくむ生涯学習の推進、まなびを基本とした「コミュニティ」づくり、地域の特性を生かした学びのネットワークという基本視点に立った、区域における生涯学習事業を総合的にすすめていく。

【達成目標】

区民との協働や区内教育機関・施設との連携により、まなびを通じた地域の交流を促進し、「コミュニティ」の輪を広げることをめざす。

地域福祉アクションプラン推進支援事業
1百万円

区における人権啓発推進・人権相談事業
3百万円

生涯学習推進事業
1百万円

生涯学習ルーム事業
1百万円

小学校区教育協議会－はぐくみネット事業
2百万円

経営課題3の背景となる現状

- ・ 区民が主体となって作成した「未来わがまちビジョン」を推進するためには、区民と行政が協働で取組む必要がある。
- ・ 区を越えてのボランティアの交流の場がない。
- ・ 当区は与謝蕪村、貴志康一を輩出したほか、区内には多くの史跡が点在するなど歴史・文化に恵まれた土地柄である。
- ・ 花と緑のまちづくりを推進していくために、区民が主体となった緑化活動の支援が求められている。
- ・ 「地域のこどもは地域で守ろう」と区内の各種団体からなる青少年育成推進会議や青少年指導員が中心となって、青少年の非行防止と健全育成に取り組んでいる。

経営課題3

【区民と協働ですすめるまちづくりの推進】

- ・ 区民が主体的に取り組む地域活動を支援し育成するとともに、団体間の情報交換や相互交流など連携を深め、発展させる仕組みを構築する必要がある。
- ・ 区の歴史的・文化的財産を活用して、区民のわがまちへの愛着を育み潤いのあるまちづくりを推進する必要がある。
- ・ 青少年の健全育成は、地域社会全体で責任を持つべき性質のものであり、家庭・地域・学校・行政・企業等がそれぞれの立場で推進していく必要がある。

戦略3-1

「未来わがまちビジョン」実現のため、環境問題や美化活動を通じて、区民のまちづくり意識の向上と活動への参画を促し、幅広い区民参加による世代間交流や地域コミュニティの育成をめざす。

【達成目標】

平成23年度のボランティア参加延べ人数1,000人

戦略3-2

地域と協働で、区ゆかりの音楽家貴志康一や区原産のなにわの伝統野菜「毛馬キュウリ」を通じて、わがまちへの愛着を育むとともに、区の歴史や文化への理解を深める。

【達成目標】

区民が中心となって普及・啓発活動を行うことで、区の歴史・文化への理解と地域コミュニティの醸成をめざす。

戦略3-3

区民ボランティアなどが自らの手で種から花苗を育て、区内各所に配布して四季折々の花々でまちを彩ることにより、地域の緑化を図るとともに、高齢者をはじめ子どもや障害者など、幅広い区民参加を得ることで、区民同士のふれあいや地域コミュニティの育成をめざす。

【達成目標】

平成23年度末までに花飾り設置による迷惑駐輪、ごみ不法投棄などの対策箇所数 20箇所

戦略3-4

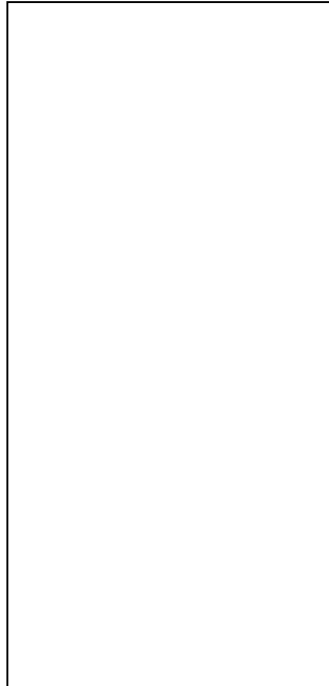
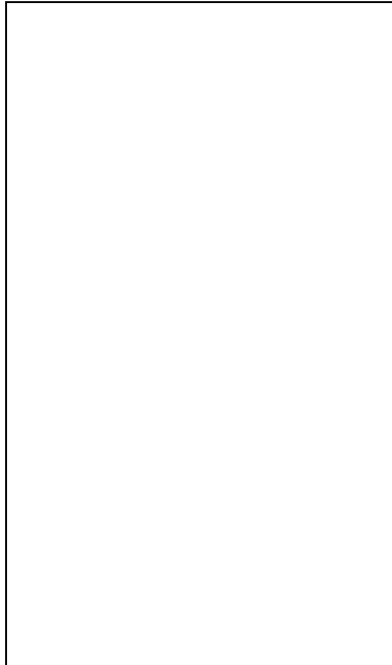
「新淀川開削100周年」「水都大阪2009」の年を契機とし、東部4区の区民が一同に会して、シンポジウムや船上視察を企画・運営し、河川への理解・関心・愛着を再認識させ、河川災害に対する意識啓発や河川へのごみのポイ捨て減少につなげる。

未来わがまちビジョン推進事業 4百万円

貴志康一顕彰事業及び毛馬キュウリ普及運動推進事業 1百万円

種から育てる地域の花づくり支援事業 1百万円

東部4区合同「淀川100年未来に向けて」シンポジウム事業 1百万円



【達成目標】
 4区での河川関連の取組み回数 10回
 参加者数 3,000人
 シンポジウムをきっかけとした連携ネットワークの設立
 及び活動回数 1回

戦略 3-5
 青少年の健全育成・非行防止とこどもの保護・安全強化、
 犯罪の未然防止を図るとともに、こどもが安心して暮ら
 せる環境を確保するため、こども 110番の家事業を拡充
 する。
 青少年指導員とこどもたちが直接関わる事業を推進し、
 街頭での指導によって非行防止活動を実施する。また、
 研修会等を通じて、地域における青少年の健全育成と非
 行防止に取り組む。

【達成目標】
 地域における青少年の健全育成と非行防止活動を通じ
 て、こどもが安心して暮らせる環境づくりをめざす。

青少年育成推進事業及び青少年指導員活動推進事業
 1百万円

経営課題 4 の背景となる現状

- ・ 法律や制度改正が相次ぐなど、区民が必要とする情報をタイムリーかつわかりやすく伝えることが求められている。
- ・ 区政への関心の高まりとともに、区民のニーズも多様化している。
- ・ 厳しい財政状況のもと、更なる経費の削減が急務となっており、効率的で効果的な組織運営・事業実施が求められている。

経営課題 4

【信頼され、親しまれる区役所づくり】

- ・ 区政に関する多様な情報が容易に得られるよう、区広報紙・ホームページの充実を図る必要がある。
- ・ 区民が自ら、身近な課題に関心を持ち解決できるよう、行政の多様な情報を提供・紹介していく必要がある。

戦略 4-1

区が取り組む政策や行政サービスを区民に正確に伝え、区政への理解と協力を求める。
 広聴を通じて区民ニーズを的確に把握し、区民への説明責任を果たす。
 区民が区政に関し気軽に意見・提案ができ、かつ区政に反映させる制度の充実を図る。

【達成目標】
 広聴広報機能を充実させるため、区民アンケートを実施し、市民満足度の向上をめざす。

広聴広報関係事業 9百万円

- ・ 広報「みやこじま」の発行
- ・ 区ホームページの運用
- ・ 区民情報コーナー事業
- ・ 元気アップ会議

- ・ 環境への負荷が少ない社会を築いていくことが求められている中、区役所も積極的に環境保全の取組みを行う必要がある。

- ・ 公平・公正で信頼される区政を推進するとともに、経営感覚やコスト感覚を職員が自ら意識した事務を執行する必要がある。

戦略4-2

個人情報保護の徹底と積極的な情報公開を行い、信頼される区役所運営をめざす。

職員に対し接遇研修を実施することで、窓口での接遇技術の向上を図る。

毎月掲げるCS推進強化項目に積極的に取り組むことにより、市民満足度の向上を図る。

継続して庁内環境保全行動に取り組むことで省エネルギー・省資源を図り、コスト削減と効率的な区役所運営をめざす。

【達成目標】

電気・都市ガスの使用量（平成20～23年度）

平成19年度使用量を基準に3%削減

上水使用量・コピー用紙購入量

平成23年度までに平成19年度使用量を基準に4%削減

ウ 都島区役所 主要事業の概要

経営課題に対応する21年度の主要事業

経営課題1 安全・安心なまちづくりの推進

(4百万円)

1 区防災対策事業

3百万円

市民・企業・行政・関係機関の相互協力体制の確立をめざして、実践的な防災訓練を実施する。また、区民自らが主体的に地域防災活動に取り組むことができるよう、自主防災活動などを支援する。

(事業内容) ①区民が中心となった参加体験型の震災訓練の実施

②災害時に迅速に救助・減災活動が行えるよう地域防災リーダーの育成

③地域の自主防災訓練に対する支援

④防災マップの作成や防災に関する情報の提供及び啓発

(達成目標) 地域防災リーダー研修会 年2回実施

各地域での防災訓練 18回実施

出前講座 6回実施

(2百万円)

② 地域防災力向上のための小学校区別ワークショップ

2百万円

区民主体のワークショップを実施し、区と地域が協働で取り組むべき今後の課題を明確にするとともに、その解決を図る。

(事業内容) ①セミナーや図上訓練による現状と問題点の把握

②まち歩きや避難訓練による新たな問題点の発見

③避難所運営訓練など、防災・減災に取り組む体制づくり

(達成目標) ワークショップ 9回(1校区3回×3校区)開催

(-)

③ 都島区の安全なまちづくり事業

1百万円

各小学校地域での自主パトロール(こども見守り隊)の活動を支援し、街頭犯罪をはじめとする多岐にわたる犯罪を未然に防止・抑止する。

(事業内容) ①情報共有・情報交換のためのこども見守り隊会議の設置

②こども見守り隊ボランティアの表彰

③警察署と連携・協力した「青パト事業」の実施

(達成目標) こども見守り隊会議 年4回開催

こども見守り隊ボランティアの表彰 1回実施

(1百万円)

④ 4 京橋地域の安全なまちづくり事業

1百万円

京橋駅周辺を歩行者が快適に通行でき、活気に満ちたまちづくりをめざし、地域住民・関係機関・事業所が一体となった活動を実施する。「放置自転車」「たばこマナー」「はみだし看板」等の課題ごとに解決策を検討し、定期的に啓発活動を実施する。

(事業内容) ①京橋駅周辺の安全・安心な環境づくりのため、パトロール活動の実施
②啓発用スピーカーの設置

(達成目標) 街頭啓発活動(放置自転車対策) 週1回実施

街頭啓発(安全パトロール・たばこマナー) 隔週1回実施

街頭啓発(商店のはみだし看板対策) 年4回実施

関係者会議及び研究会 2ヶ月に1回実施

経営課題2 誰もがいきいきと暮らすことのできるまちづくりの推進

(1百万円)

④ 1 みやっこみんなで健康づくり事業

1百万円

区民の健康づくりを総合的・効果的に推進するため、生活習慣病予防に焦点をあてた健康づくり事業を展開し、日常生活の中に健康意識を根付かせ、健康的な生活習慣の形成支援を行う。

(事業内容) ①健康づくりウォーキングの開催

②健康づくりのつどいの開催

③地域巡回健康展の開催

④区民と協働で作成した「みやっこ体操」の普及

(達成目標) ウォーキングコンテスト応募者数 200人

ウォーキング参加者数 500人

健康づくりのつどい参加者数 300人

アンケートで健康意識が高まったという回答 50%

「みやっこ体操」の実施施設・地域・団体 40ヶ所

経営課題3 区民と協働ですすめるまちづくりの推進

(5百万円)

④ 1 未来わがまちビジョン推進事業

4百万円

「未来わがまちビジョン」実現のため、環境問題や美化活動を通じて、区民のまちづくり意識の向上と活動への参画を促し、幅広い区民参加による世代間交流や地域コミュニティの育成をめざす。

(事業内容) ①「未来わがまちビジョン推進会議」及び「大川かたづけ隊」の支援

- ②環境問題をテーマにした区民主体のイベント「桜まつり」の開催
- ③環境問題について訴えるため、廃油を利用したキャンドルづくりのワークショップと「キャンドルナイト in 都島」の開催
- ④自然や環境への関心を高め、伝統野菜を通じて区の歴史と文化への理解を深める農業体験プログラムの実施
- ⑤区の生んだ偉人 与謝蕪村を顕彰する区民主体のイベント「蕪村まつり」の開催

(達成目標) ボランティア参加延べ人数 600 人
イベント等参加者数 1,800 人

(2 百万円)

④ 2 種から育てる地域の花づくり支援事業

1 百万円

区民ボランティアが種から花を育て、まちを花々で彩ることにより、区民主体の花と緑のまちづくりを推進するとともに、幅広い区民の参加を通じて住民同士のふれあいや地域のコミュニティの醸成を図る。

(事業内容) 平成 21 年 3 月開始 場所：都島区網島町 6 番 (大阪市公館駐車場)

(達成目標) 区民ボランティア応募者 100 人

エ 都島区 新規・拡充事業(主なもの)

1 新規事業

① 都島区の安全なまちづくり事業 1百万円

各小学校地域で行われている「地域自主パトロール防犯活動」による啓発活動により、街頭犯罪をはじめとする多岐にわたる犯罪の防止・抑止や、区民の防犯意識の向上を図る。

② 東部4区合同「淀川100年未来に向けて」シンポジウム事業 1百万円

淀川に守られてきた東部4区(都島区、旭区、城東区、鶴見区)が一堂に会して、シンポジウムや船上視察を企画・運営し河川への理解・関心・愛着を再認識させ、河川災害に対する意識啓発や河川ごみのポイ捨て減少につなげる。

多目的トイレの設置 2百万円

区民が安心かつ快適に施設を利用することができるよう区役所1階にオストメイト対応トイレを設置することにより、「身障者トイレ」から「多目的トイレ」へ機能の改善を図る。

2 拡充事業

① 京橋地域の安全なまちづくり事業 (1百万円)
1百万円

京橋駅周辺の道路及び商店街を歩行者が快適に通行できる活気に満ちたまちづくりに向け、地域住民、商店街、地権者及び関係行政機関等が一体となり問題解決に向けた活動を実施する。京橋駅のJRと京阪との乗り換え通路に、啓発スピーカーを常時設置し、まちの安全とモラルの向上を呼びかける啓発を実施する。

オ 経費削減の取組の予算反映（主なもの）

（単位：百万円）

区分	事務事業の 名称・内容	20年度 予算	見直し内容	見直し計画 額 (21, 22年度 合計)	21年度予算 反映見直額	21年度 予算	備考
経常	都島こども新聞事業	2	委託にかかる経費を 見直し、約5%を削減 する。	△ 1	△ 2	0	事業見直し
				21 △ 1	21 △ 2		
				22 0	22 0		